

入 札 説 明 書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

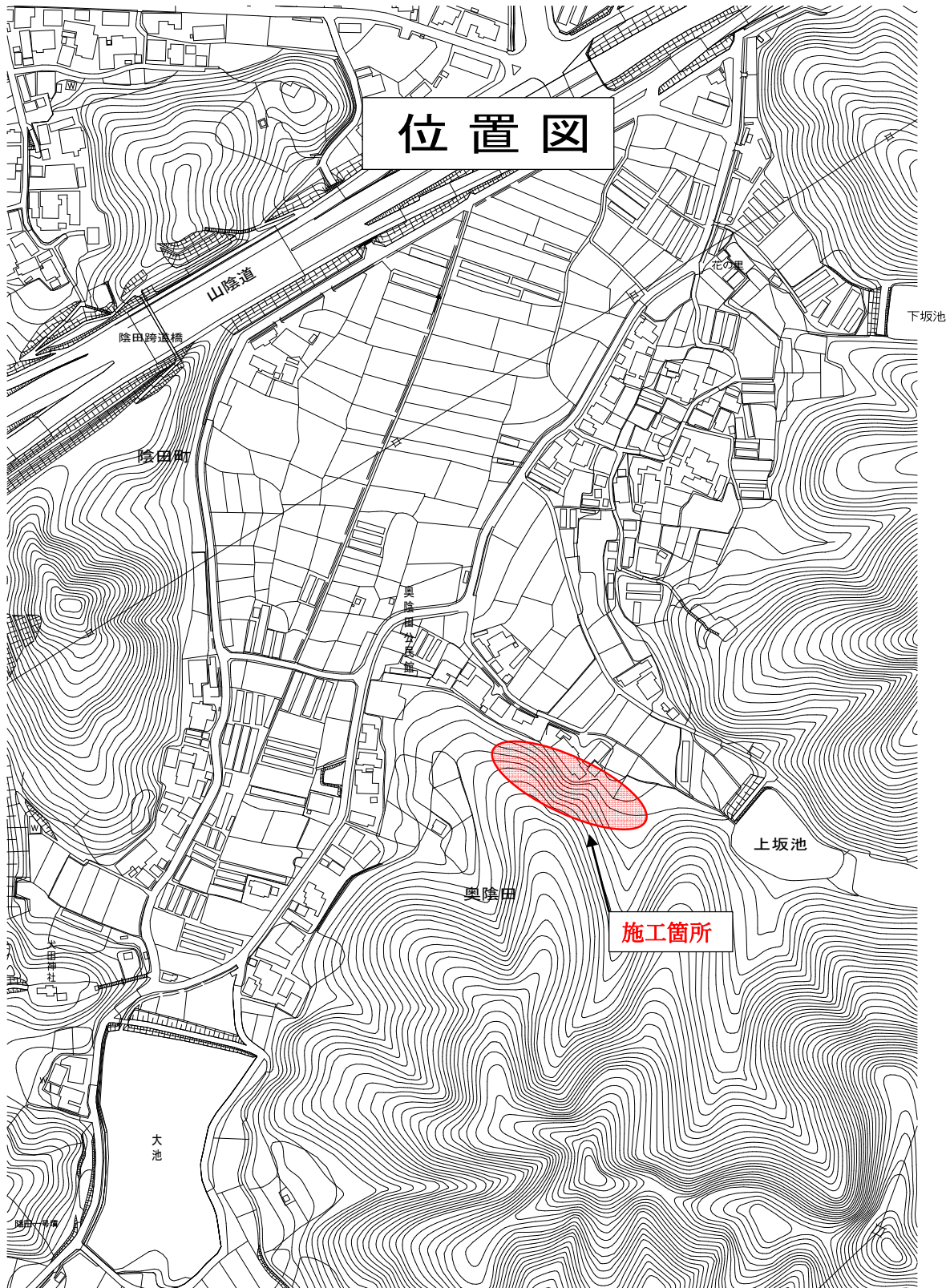
工事希望型指名競争入札に付する工事	工 事 名	奥陰田3 地区急傾斜地崩壊対策工事		
	工 事 場 所	米子市陰田町地内	工期	契 約 日 から 令和7年2月28日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		都市整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年9月10日 午前10時0分 本庁舎202会議室	開札
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金 部 分 払	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3（ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。）以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。 11. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別紙のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するように努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格 ￥31,033,200				
最低制限価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10) ×1.1				

工 事 設 計 書

令和 6 年度	工事名	奥 陰 田 3 地 区 急 傾 斜 地 崩 壊 対 策 工 事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和7年2月28日 まで					
工 事 場 所	米子市 陰田町 地内					
工 事 概 要	施工延長 L = 23.7 m					
	砂防土工 一式					
	法面工 一式					
	仮設工 一式					

米 子 市

位置図



数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	設計数量	備 考
砂防土工	掘削工	掘 削	土 砂	m ³	380	
		積込(ルーズ)	土 砂	m ³	380	
		土砂等運搬	土 砂 現場～仮置場	m ³	380	
	法面整形工	法面整形(切土部)	土砂・機械	m ²	130	
	残土処理工	土砂等運搬	土 砂 仮置場～残土置場	m ³	520	
法面工	法枠工	吹付枠	梁断面200×200	m	200	
		ラス張		m ²	130	
		水切モルタル ・コンクリート		m ³	3	
		枠内吹付・枠内中詰	植生基材 厚3cm	m ²	60	
仮設工	作業土工			式	1	
	防護施設工			式	1	
	施工ヤード工			式	1	
	パイロット			式	1	
	交通管理工			式	1	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 受注者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 受注者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 受注者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、受注者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和6年6月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 _____本工事_____の施工時間は、<u>8：30 ～ 17：00</u>とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査→調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>15</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____ 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>15</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地） ④（土質改良プラント）	建設発生土は <u>米子</u> 市・町・村 <u>奥谷</u> 地内の残土置場に運搬（片道運搬距離 <u>2.9</u> km）するものとする。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u> </u> 円をセンターに支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。 建設発生土は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u> 円を <u> </u> に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥（他工事等流用） ⑦（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑧（木材市場等へ売却） ⑨（最終処理等） ⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³ 当り <u> </u> 円 アスファルト塊 1 m³ 当り <u> </u> 円 建設発生木材 1 m³ 当り <u> </u> 円 [Co 雑割材・ <u> </u>] は、 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内 <u> </u> 工事現場に運搬（片道運搬距離 <u> </u> km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u>（運搬距離 <u> </u> km）、費用 1 t 当り <u> </u> 円 アスファルト塊 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u>（運搬距離 <u> </u> km）、費用 1 t 当り <u> </u> 円 建設発生木材 <u>南部</u> 市・町・村 <u>高姫</u> 地内の <u>（株）ティー・エム・エス</u>（運搬距離 <u>11.2</u> km）、費用 1 t 当り <u>13,000</u> 円 その他（伐根材） <u>南部</u> 市・町・村 <u>高姫</u> 地内の <u>（株）ティー・エム・エス</u>（運搬距離 <u>11.2</u> km）、費用 1 t 当り <u>17,000</u> 円 その他（枝葉） <u>南部</u> 市・町・村 <u>高姫</u> 地内の <u>（株）ティー・エム・エス</u>（運搬距離 <u>11.2</u> km）、費用 1 t 当り <u>13,000</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 <u> </u> cm 以下、長さ <u> </u> m 以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の <u> </u> への搬出（片道運搬距離 <u> </u> km）を想定し、 <u> </u> 円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 <u> </u> については、 <u> </u> 市・町・村 <u> </u> 地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離 <u> </u> km）を想定し、その費用として1t 当たり <u> </u> 円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を <u> </u> 円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① （建設発生土の使用） ② （再生資材の使用）	_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C o 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：R S - _____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____ 〕〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。
工事用道路	① （農地の一時転用について） ② （農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 ア <u>施工ヤード</u> の用途に使用するため、<u>米子市・町・村 陰田町1225-1、1203-2</u> 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現場説明書

特記事項4

その他	①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する→しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td> </tr> <tr> <td>防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）</td> <td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td> </tr> </tbody> </table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
	計上費目	実施内容												
	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減												
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等													
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策													
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献													
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）													
②（現場環境改善）														
③準備費について	準備費に計上している立木の伐採について、傾斜 30° 以上、植生疎密度：中として補正している。現場条件と適合しない場合は変更協議する。													

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()				
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(法面工事)				
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☐ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材				
工作物に 関する調 査の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()				
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 0 m その他()				
工作物に 関する調 査の結果 及び工事 着手前に 実施する 措置の内 容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容		
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()			
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 4 m 通学路 ☐ 有 ☒ 無 その他()			
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☐ 無			
	他法令関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☐ 無			
	その他					
工程ごとの 作業内 容及び 解体方 法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)		
	①仮設		仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	②土工		土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	④本体構造		本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
	⑥その他 ()		その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用		
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()				
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン				
廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工 作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び 特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工 作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	
			☐ コンクリート塊		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ アスファルト・コンクリート塊		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
			☐ 建設発生木材		トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他						
備考						

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-60410-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	07 砂防，地すべり 01 率計上する（地方部） 19 補正なし 01 金銭保証（ 0 . 0 4 % ） 01 豪雪割増あり 01 算出する 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
斜面对策						Y1D03 (レ^\ Ⅱ1)
砂防土工			一式			Y1D0301 (レ^\ Ⅱ2)
掘削工			一式			Y1D030101 (レ^\ Ⅲ3)
掘削			一式			Y1D03010101 (レ^\ Ⅳ4)
片切掘削工（小規模土工） バックハウ クローラ型山積0.28m3			m3			STA02006 00
	380		m3			単第0 -0001 表 060810
不整地運搬車 5,000m3未満 BH(クローラ型) 山積0.45/平積0.35m3						S1010005 00 A=1,B=2,C=12
	380		m3			単第0 -0003 表 060810
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満						SPK23040007 00 A=1,B=1
	380		m3			単第0 -0005 表 060810
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離0.2km以下 現場～仮置場						SPK23040002 00 A=2,B=5,C=1,D=1,F=1
	380		m3			単第0 -0006 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形工						Y1D030107 (レバ Ⅲ3)
			一式			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土						SPK23040025 00 A=2, C=2, D=2, E=1
	130	m2				単第0 -0007 表 060810
残土処理工						Y1D030109 (レバ Ⅲ3)
			一式			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離2.0km以下(1.5km超) 仮置場～残土置場						SPK23040002 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=7
	520	m3				単第0 -0008 表 060810
整地 残土受入れ地での処理						SPK23040003 00 A=1
	520	m3				単第0 -0009 表 060810
法面工						Y1D0303 (レバ Ⅱ2)
			一式			
植生工						Y1D030301 (レバ Ⅲ3)
			一式			
植生基材吹付						Y1D03030104 (レバ Ⅳ4)
			m2			
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚3cm [規]250m2未満						SS000271 00 A=1, B=4, D=1, E=2
	60	m2				単第0 -0010 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
法枠工						Y1D030303 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
吹付枠						Y1D03030303 (レ^\ Ⅱ4)
			m2			
ラス張工 [規]250m2未満						SS000187 00 A=4,C=1
	130		m2			単第0 -0011 表 060810
吹付枠工 梁断面_200×200 [規]100m以上250m未満						SS000185 00 A=2,B=3
	200		m			単第0 -0012 表 060810
水切りモルタル						W0001
県単	3		m 3			
仮設工						Y1D0310 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
作業土工						Y1D030201 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)						SPK23040015 00 A=1,B=5,E=1
	6		m3			単第0 -0013 表 060810
防護施設工						Y1D031016 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事用仮設防護柵 型					V0002 00
	44	m			単第0 -0014 表 060810
大型土のう設置					V0006 00
	8	袋			単第0 -0020 表 060810
施工ヤード工					Y3999 (レベル3)
表土剥ぎ取り t=30cm					V0003 00
	620	m 3			単第0 -0024 表 060810
ブルーシート設置					V0004 00
	2,070	m ²			単第0 -0026 表 060810
仮排水管設置 据付 直管 200～400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm					SPK23040092 00 A=1,B=1,C=2,D=56,G=1,I=1
	5	m			単第0 -0028 表 060810
盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し 施工ヤード					SPK23040005 00 A=3,B=1,C=1
	1,000	m3			単第0 -0029 表 060810
再生土 CBR 12					W0001
	600	m 3			
県単 大型土のう設置					V0006 00
	9	袋			単第0 -0020 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間 9 3 日					S1050029 00 A=3,B=1,C=93,D=2
	6	枚			単第0 -0030 表 060810
敷鉄板設置					S1050041 00
	28	m2			単第0 -0031 表 060810
敷鉄板撤去					S1050043 00
	28	m2			単第0 -0033 表 060810
パイロット					Y3999 (レベル3)
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK23040001 00 A=1,B=5,E=7
	540	m3			単第0 -0034 表 060810
ブルーシート設置					V0004 00
	260	m ²			単第0 -0026 表 060810
交通管理工					Y1D031021 (レベル3)
		一式			
交通誘導警備員					Y1D03102101 (レベル4)
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	15	人			060810 1

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
* * 直接工事費 * *											
運搬費										Z0004	
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2 . 5 km 製品長 12m以内										S1000007 00 A=2.5,B=1,C=1,D=1,E=4.8,F=1,H=1,J=1,L=1	
準備費		1		一式						単第0 -0035 表	060810
立木切倒し・集積										Z0005	
立木積込		550		本						V0007 00	
										単第0 -0038 表	060810
		33		t						V0008 00	
										単第0 -0039 表	060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超) 株TMS 木くず		28		t						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=11	
										単第0 -0040 表	060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超) 株TMS 伐根材		18		t						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=11	
										単第0 -0040 表	060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超) 株TMS 枝葉		5		t						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=11	
										単第0 -0040 表	060810

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費 木くず2	(株)TMS	28	t							TTV0040 00	060810 9
処分費 伐根材	(株)TMS	18	t							TTV0041 00	060810 9
処分費 枝葉	(株)TMS	5	t							TTV0042 00	060810 9
現場環境改善費										Z0012	
共通仮設費											
* * 共通仮設費計 * *											
* * 純工事費 * *											
現場管理費											
* * 工事原価 * *											

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率分							
契約保証費							
一般管理費計							
* * 工事価格 * *							
* * 消費税相当額 * *							
* * 工事費計 * *							

片切掘削工（小規模土工）
バックホウ クローラ型山積0.28m3

STA02006

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0010

10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.71	人			RTPC00002
バックホウ運転 クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	0.29	日			S9003 単第0-0002 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施 工 単 価 表

頁0-0011

バックホウ運転

S9003

単第0 -0002 表

クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3)

排出ガス対策型2次基準

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	38.00	L			TTPC00013
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1.52	供用日			MTPC00062
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 クローラ[標準型]山0.28m3(平0.2m3) C=0 労務単価の夜間等割増率 E=38 軽油消費量 (L/日) G=1.52 機械損料数量 (供用日/日)			B=1 岩石工損料割増 無し D=3 排出ガス対策型2次基準 F=1 運転労務数量 (人/日)		

施工単価表

頁0-0012

不整地運搬車
5,000m3未満

S1010005

BH(クローラ型) 山積0.45/平積0.35m3

単第0 -0003 表

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28 不整地運搬車運転 クローラ型 ダンプ 全旋回式 6～7t積 排出ガス対策型2014年規制	1.087	日			S9021 単第0-0004 表 100/92
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 5,000m3未満 C=12 260以下			B=2 BH(クローラ型) 山積0.45/平積0.35m3		
日当り運搬量 D = 92(m3/日)					

施工単価表

頁0-0013

機-28_不整地運搬車運転
クローラ型 ダンプ 全旋回式 6～7t積

S9021
排出ガス対策型2014年規制

単第0 -0004 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	133.00	L			TTPC00013
<賃>不整地運搬車(クローラ型油圧式) 積載質量6.0～7.0t 全旋回式	1.54	供用日			KR080005
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=11 クローラ型 ダンプ 全旋回式 6～7t積 C=133 軽油消費量 (L/日) E=6 排出ガス対策型2014年規制			B=1 運転労務数量 (人/日) D=1.54 機械賃料数量 (供用日/日)		

施工単価表

頁0-0014

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第0 -0005 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.49%

労務構成比: 35.67%

材料構成比: 19.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	44.49%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
特殊運転手	35.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	19.84%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0-0015

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0006 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離0.2km以下

現場～仮置場

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92%

材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=1 距離0.2km以下			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0-0016

法面整形

SPK23040025

単第0 -0007 表

切土部 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 10.32%

労務構成比:

79.09%

材料構成比: 10.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)	10.32%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	37.96%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	21.82%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	19.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	10.59%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0017

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0008 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離2.0km以下(1.5km超)

仮置場～残土置場

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=7 距離2.0km以下(1.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施 工 単 価 表

頁0-0018

整地
残土受入れ地での処理

SPK23040003

単第0 -0009 表

1

m3 当り

機械構成比：24.02%		労務構成比：49.00%		材料構成比：26.98%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考		
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3)		24.02%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)			KTPC00018 KTPT00018		
特殊運転手		49.00%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006		
軽油 小型ローリー(パトロール給油)		26.98%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		
積算単価				積算単価			EP001		
A=1 残土受入れ地での処理									

施 工 単 価 表

植生基材吹付工(枠内吹付)

SS000271

単第0 -0010 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面工 機械播種施工による植生工 植生基材吹付工 厚 3 c m	1.000	m ²			TS270
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 厚3cm D=1 -			B=4 [規]250m2未満 E=2 枠内吹付の場合		

施 工 単 価 表

SS000187

単第0 -0011 表

ラス張工
[規]250m2未満

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付粹工 ラス張工	1.000	m ²			TS934
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=4 [規]250m2未満			C=1 -		

施 工 単 価 表

SS000185

単第0 -0012 表

1 m 当り

吹付砕工
梁断面 200×200 [規]100m以上250m未満

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吹付砕工 モルタル・コンクリート 梁断面 200×200	1.000	m			TS929
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 梁断面_200×200			B=3 [規]100m以上250m未満		

施 工 単 価 表

SPK23040015

単第0 -0013 表

1

m3 当り

床掘り
土砂 上記以外(小規模)

機械構成比： 20.81% 労務構成比： 71.39% 材料構成比： 7.80% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
特殊運転手	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
切土及び発破防護柵の設置・撤去 設置 油圧伸縮ジブ型 10t吊	40	m2			S1050047 単第0-0015 表
H形鋼 150×150×7×10 主柱	0.709	t			T0006 建設物価P27
L形鋼 6×75×75 横梁	0.274	t			T0007 建設物価P33
杉厚板 3.6×20×20cm	1.44	m 3			T0005 建設物価P158
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1.44	m3			SPK23040154 単第0-0018 表
型枠 一般型枠 小型構造物	9.6	m2			SPK23040156 単第0-0019 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

頁0-0024

切土及び発破防護柵の設置・撤去
設置

S1050047
油圧伸縮ジブ型 10t吊

単第0 -0015 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
切土及び発破防護柵の設置・撤去 設置 油圧伸縮ジブ型 10t吊	100.000	m2			S1050049 単第0-0016 表
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 設置			B=1 油圧伸縮ジブ型_10t吊		

施 工 単 価 表

頁0-0025

切土及び発破防護柵の設置・撤去
設置

S1050049
油圧伸縮ジブ型 10t吊

単第0 -0016 表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.429	人			RTPC00009 9
とび工	1.429	人			RTPC00004 9
普通作業員	2.857	人			RTPC00002 9
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 10t吊 オペレータ付	1.429	日			KR006013 長期割引適用外
機-28,29_高所作業車運転 トラック架設リフト・ム型(直伸式) 作業床高さ12m	1.429	日			S9349 単第0-0017 表
諸雑費	11	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 設置			B=1 油圧伸縮ジブ型_10t吊		
土木一般世話役 = 1 * 100 / 70 = 1.429(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / 70 = 1.429(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 2 * 100 / 70 = 2.857(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め ラフテレーンクレーン = 1 * 100 / 70 = 1.429(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 高所作業車 = 1 * 100 / 70 = 1.429(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

S9349

単第0 -0017 表

1 日 当り

機-28,29_高所作業車運転
トラック架設リフト・ブーム型(直伸式) 作業床高さ12m

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	24.00	L			TTPC00013
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
<賃>高所作業車(トラック架装リフト) バケット,ブーム型 作業床高12m	1.07	供用日			KTPC00022 長期割引適用外
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=6 C=24 トラック架設リフト・ブーム型(直伸式) 作業床高さ12m 軽油消費量 (L/日)			B=1 D=1.07 運転労務数量 (人/日) 機械賃料数量 (供用日/日)		

施工単価表

頁0-0027

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0018 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 44.86%

材料構成比: 55.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施 工 単 価 表

SPK23040156

単第0 -0019 表

型枠
一般型枠
機械構成比：0.00%

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

m2 当り

小型構造物

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

大型土のう設置

V0006

施 工 単 価 表

単第0 -0020 表

頁0-0029

1 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう製作	1	袋			S0821 単第0-0021 表
大型土のう設置 作業半径6mを超え20m以下	1	袋			S0822 単第0-0023 表
*** 単位当たり ***	1	袋			

施 工 単 価 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.161	人			RTPC00009
特殊作業員	0.161	人			RTPC00001
普通作業員	0.161	人			RTPC00002
耐候性大型土のう φ110×110 長期仮設（3年）対応	10	枚			F0000004300
再生土	10	m 3			建設物価P183 F0000004655
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.161	日			S9035 単第0-0022 表
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4300 【F】大型土のう(袋)			B=4655 【F】土砂(m3)		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 62 = 0.161 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ運転 = 10 / D = 10 / 62 = 0.161 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0022 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.44	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=21 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.44 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

S0822

単第0 -0023 表

10 袋 当り

大型土のう設置
作業半径6mを超え20m以下

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.125	人			RTPC00009
特殊作業員	0.125	人			RTPC00001
普通作業員	0.125	人			RTPC00002
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	0.125	日			KTPC00014
諸雑費	1	一式			長期割引適用外 #91
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=1 設置			B=2 作業半径6mを超え20m以下		
土木一般世話役 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 80 = 0.125 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 80 = 0.125 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 10 / D = 1 * 10 / 80 = 0.125 (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め ラフテレーンクレーン = 10 / D = 10 / 80 = 0.125 (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

表土剥ぎ取り
t=30cm

V0003

施 工 単 価 表

単第0 -0024 表

頁0-0033

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	1	m3			SPK23040001 単第0-0025 表
*** 単位当たり ***	1	m 3			

施工単価表

頁0-0034

掘削
土砂 オープンカット 押土無し

SPK23040001

障害無し 5,000m3未満

単第0 -0025 表

1

m3 当り

機械構成比： 45.14% 労務構成比： 34.64% 材料構成比： 20.22% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
特殊運転手	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

ブルーシート設置

V0004

施工単価表

単第0 -0026 表

頁0-0035

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
吸出し防止材設置 吸出し防止材(各種)	1	m2			SPK23040121 単第0-0027 表
ブルーシート #2000	1	m ²			T0008
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

SPK23040121

単第0 -0027 表

吸出し防止材設置

吸出し防止材(各種)

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 25.39% 材料構成比： 74.61% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	21.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.72%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
遮水シート	74.61%		不織布(合織) 厚10mm,強度9.8kN/m		F0000000001 TTPT00048
積算単価			積算単価		EP001
A=2 吸出し防止材(各種)			B=1 【F】吸出し防止材(m2)		

施工単価表

頁0-0037

仮排水管設置

据付 直管 200 ~ 400mm

機械構成比： 0.00%

労務構成比：

SPK23040092 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm

13.99%

材料構成比： 86.01%

市場単価構成比： 0.00%

単第0 -0028 表

1

m 当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	10.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
硬質ポリ塩化ビニル管 V U 2 0 0	86.01%		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0405 TTPT00189
建設物価P689					
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=2 200 ~ 400mm G=1 -			B=1 直管 D=56 硬質ポリ塩化ビニル管 VU 呼び径200mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0038

盛土
施工幅員4.0m以上

SPK23040005

施工数量10,000m3未満 障害無し

施工ヤード

単第0 -0029 表

1

m3 当り

機械構成比： 19.31%

労務構成比：

63.43%

材料構成比： 17.26%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>ブルドーザ 湿地 7t級	9.95%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(フラットシングルドラム型) 質量11～12t	9.36%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t		KTPC00058 KTPT00058
特殊運転手	43.02%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	17.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施 工 単 価 表

頁0-0039

敷鉄板賃料

S1050029

単第0 -0030 表

22×1524×3048,802kg/枚

賃貸期間 9 3 日

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(賃料)鉄板 22×1524×3048,802kg/枚 180日以内	93.000	枚・日			K0100067
(賃料)鉄板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100073
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=3 22×1524×3048,802kg/枚 C=93 敷鉄板賃貸期間 (日)			B=1 賃料 D=2 整備費有り		

敷鉄板設置

S1050041

施 工 単 価 表

単第0 -0031 表

頁0-0040

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009 9
とび工	0.152	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.152	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0032 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 656 = 0.152(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0032 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

敷鉄板撤去

S1050043

施 工 単 価 表

単第0 -0032 表

頁0-0042

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009 9
とび工	0.143	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.143	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			S9035 単第0-0032 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 701 = 0.143(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

SPK23040001

単第0 -0034 表

掘削
土砂 上記以外(小規模)

機械構成比： 28.44% 労務構成比： 標準 59.55% 材料構成比： 12.01% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
特殊運転手	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施 工 単 価 表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 2 . 5 km 製品長 12m以内

単第0 -0035 表 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 2 . 5 km 製品長 12m以内 運搬質量 4 . 8 t	1.000	一式			S1000009 単第0-0036 表
往復					+00
積込み,取卸しに要する費用	1.000	一式			S1000009 単第0-0037 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=2.5 運搬距離(km) C=1 - E=4.8 運搬質量(t) H=1 - L=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			B=1 12m以内 D=1 - F=1 - J=1 -		

S1000009

單第0 -0036 表

製品長 12m以内 運搬質量 4 . 8 t

1 式 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

積込み,取卸しに要する費用

S1000009

単第0 -0037 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積込み費（基地）	4.800	t			KR00E006
仮設材取卸し費（現場）	4.800	t			KR00E009
仮設材積込み費（現場）	4.800	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	4.800	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 積込み,取卸しに要する費用 K=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=4.8 運搬質量(t)		

立木切倒し・集積

V0007

施工単価表

単第0 -0038 表

頁0-0047

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.32	人			RTPC00009 1
特殊作業員	2.76	人			RTPC00001 1
普通作業員	4.44	人			RTPC00002 1
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	6.72	時間			M0171 1
諸雑費	5	%			#01 1
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

立木積込

V0008

施工単価表

単第0 -0039 表

頁0-0048

10 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.17	人			RTPC00009
普通作業員	0.31	人			RTPC00002
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	2.24	時間			M0171
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0040 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)

(株)TMS 木くず

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比： 3.13%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=11 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2 DID区間有り		

数 量 集 計 表 (1/2)

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	集計数量	備 考
砂防土工	掘削工	掘 削	土 砂	m ³	382.1	
		積込(ルーズ)	土 砂	m ³	382.1	
		土砂等運搬	土 砂 現場～仮置場	m ³	382.1	
	法面整形工	法面整形(切土部)	土砂・機械	m ²	133.4	
	残土処理工	土砂等運搬	土 砂 仮置場～残土処分場	m ³	522.5	
		残土等処分		m ³	522.5	
法面工	法枠工	吹付枠	梁断面200×200	m	199.6	
		ラス張		m ²	133.6	
		水切モルタル ・コンクリート		m ³	3.4	
		枠内吹付・枠内中詰	植生基材 厚3cm	m ²	64.9	

数 量 集 計 表 (2/2)

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	集計数量	備 考
仮設工	作業土工	床掘	土砂	m ³	6.3	
	防護施設工	工事用仮設防護柵	VII型	m	44.0	
		大型土のう設置	購入土 耐候性大型土のう	袋	8	
	施工ヤード工	表土剥ぎ取り	t=30cm	m ³	620.4	
		ブルーシート設置		m ²	2,068	
		仮排水管設置	塩ビ管 φ 200	m	5.0	
		施工ヤード盛土		m ³	1,003.8	(うち流用土403.5m ³) (うち購入土600.3m ³)
		大型土のう設置	購入土 耐候性大型土のう	袋	9	
		敷鉄板設置・撤去	22 × 1524 × 3048	枚	6	
	パイロット	掘削	機械・小規模	m ³	537.6	
		ブルーシート設置		m ²	263.5	
	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	15.0	

砂防土工 数量集計表

[illegible]

砂防土工 数量計算書

1. 残土処理工

土砂等運搬(仮置場～残土処分場・土砂)

$$V = \begin{array}{ccccccc} & \text{砂防土工} & & \text{仮設工1} & & \text{仮設工2} & & \text{残土流用} \\ & 382.1 & + & 6.3 & + & 537.6 & - & 403.5 \\ & & & & & & & = \end{array} 522.5 \text{ m}^3$$

残土流用

$$V = (655 + 690) \times 0.5 \div 2 \times 1.2 = 403.5 \text{ m}^3$$

残土等処分

$$V = 522.5 \text{ m}^3$$

砂防土工 数量集計表

名 称	規 格	単位	最上段	すり付け部	合 計	備 考
掘削工						
掘削	土砂	m ³	382.1		382.1	
積込(ルーズ)	土砂	m ³	382.1		382.1	
土砂等運搬	土砂 現場～仮置場	m ³	382.1		382.1	
法面整形工						
法面整形(切土部)	土砂・機械	m ²	133.4		133.4	

砂防土工 数量計算書(最上段)									
種別 測点	断面間 距 離 (m)	修 正 距 離 (m)	掘削工(土砂):C						摘 要
			A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)				
NO.1	0.0	0.0	26.9	-	-				
NO.1+10.0	10.0	10.0	21.2	24.05	240.5				
NO.2	10.0	10.0	5.2	13.20	132.0				
	3.7	3.7	0.0	2.60	9.6				
							</		

砂防土工 数量計算書(最上段)

種別 測点	断面間 距 離 (m)	修 正 距 離 (m)	法面整形 切土部 (土砂 機械): SL						摘 要
			SL (m)	SL/2 (m)	A (m ²)				
NO.1	0.0		8.7	-	-				
NO.1+10.0	10.0		7.0	7.85	78.5				
NO.2	10.0		2.9	4.95	49.5				
	3.7		0.0	1.45	5.4				
合 計	23.7				133.4				

法面工 数量集計表

[illegible]

法面工 数量集計表

名 称	規 格	単位	最上段	中段	最下段	合 計	備 考
法枠工							
吹付枠	梁断面 200×200	m	199.6			199.6	
ラス張		m ²	133.6			133.6	
水切モルタル・コンクリート		m ³	3.4			3.4	
枠内吹付 植生基材吹付(45m以下)		m ²	64.9			64.9	

法枠工 数量計算書

1.吹付枠(梁断面 200×200)

・最上段

$$L = 83.5 + 116.1 = 199.6 \text{ m}$$

2.ラス張

・最上段

$$A = 133.6 \text{ m}^2$$

3.水切モルタル・コンクリート

・最上段

$$V = 1/2 \times 0.20 \times 0.24 \\ \times (25.6 + 23.5 + 116.1 - 21.7) = 3.4 \text{ m}^3$$

4.枠内吹付 植生基材吹付(45m以下)

・最上段

$$A = 133.6 - 199.6 \times 0.20 \\ - (25.6 + 116.1 - 21.7) \times 0.24 = 64.9 \text{ m}^2$$

横 枅 長 計 算 書(□200・最上段)

番号	延長	番号	延長	番号	延長	番号	延長	番号	延長
a	21.7								
b	3.8								
c	9.9								
d	12.9								
e	29.2								
f	18.4								
g	20.2								
小計	116.1	小計		小計		小計		小計	
								合計	116.1
1:1.2		最上段水切り A			25.6	最下段水切り B			23.5

法 面 工 数量計算書(最上段)

測点 \ 種別	断面間 距 離 (m)	修 正 距 離 (m)	最上段(3段目) ラス張:SL						摘 要
			SL (m)	SL/2 (m)	A (m ²)				
NO.1	0.0		8.7	-	-				
NO.1+10.0	10.0		7.0	7.85	78.5				
NO.2	10.0		2.9	4.95	49.5				
	3.7		0.1	1.50	5.6				
合 計	23.7				133.6				

仮 設 工 1 数量集計表

[illegible]

仮設工 数量計算書

1. 床掘・埋戻

・10m当り作業土工

$$V = 0.60 \times 0.60 \times 0.80 \times 5 = 1.44 \text{ m}^3$$

・全体当り作業土工

$$V = 1.44 \div 10.0 \times 44.0 = 6.3 \text{ m}^3$$

2. 工事用仮設防護柵(VII型)

$$\text{NO.0-3.2} \sim \text{NO.2+0.2} \quad L = 44.0 \text{ m}$$

仮設工 数量計算書

施工ヤード

1. 表土剥ぎ取り(耕土掘削H=30cm)

$$V = (1,378 + 690) \times 0.30 = 620.4 \text{ m}^3$$

2. ブルーシート設置

$$A = 1,378 + 690 = 2,068 \text{ m}^2$$

3. 仮排水管(塩ビ管φ200)設置

$$L = 5.0 \text{ m}$$

4. 施工ヤード盛土(H=50cm)

$$V = 1/2 \times (1,378 + 1,292) \times 0.50 \\ + 1/2 \times (690 + 655) \times 0.50 = 1,003.8 \text{ m}^3$$

再生土

$$V = 1,003.8 - 403.5 = 600.3 \text{ m}^3$$

5. 大型土のう設置

$$N = 9 \text{ 袋}$$

6. 敷鉄板(22×1524×3048)設置

$$N = 6 \text{ 枚}$$

仮 設 工 2 数量集計表

[illegible]

仮 設 工 数 量 計 算 書										
測点	種別	断面間 距 離 (m)	修 正 距 離 (m)	掘削工(土砂): 人力C1			掘削工(土砂): 機械C2			摘 要
				A (m ²)	A/2 (m ²)	V (m ³)				
		0.0	0.0				0.0	-	-	
	IP.1	2.6	2.6				15.9	7.95	20.7	
	NO.1	2.0	4.5				26.2	21.05	94.7	
	NO.1+10.0	10.0	10.0				18.6	22.40	224.0	
	NO.2	10.0	10.0				9.8	14.20	142.0	
	IP.2(B) NO.2+6.860	6.9	6.9				4.0	6.90	47.6	
		4.3	4.3				0.0	2.00	8.6	
	小計	35.8	38.3						537.6	

仮設工 数量計算書

1. ブルーシート設置

$$A = (29.5 + 106.1) \times \overset{\text{斜比(1:0.6)}}{1.943} = 263.5 \text{ m}^2$$